

久土自治会で防災訓練!

ふれあいプレス

子どもやお年寄りも積極的に参加

東日本大震災の教訓を生かそうと、久土防災会（江藤哲夫会長）は、8月26日（日）防災訓練を行った。午前9時の時報と消防車のサイレンを合図に各隣保班の避難場所に徒歩で集合。班ごとに点呼をして安全を確認した。その後、久土公民館に集合し、大分市消防局の救命講座でAEDの使い方や心臓マッサージ、消火器の操作方法、地震体験車での模擬体験をした。

参加した280名余りの住民は、災害や防災についての意識を改めて強めた。



避難場所から、久土公民館へ移動



避難場所に集合する城隣保班のみなさん



竹竿と毛布で簡易担架を作り、負傷者を4人で運ぶ。



おんぶする時は、両手を握って運ぶ方が負担が少ない



多くの住民が救急救命講座に参加



江藤哲夫久土防災会長も消火器の練習



AEDの操作方法を熱心に聴く参加者



頭部損傷の応急処置(包帯の巻き方)



予想も出来ない振動に思わず苦笑い



震度7の地震を模擬体験



渡辺明生民生委員も消火器体験



子どもに、熱心に指導する後藤敬三さん